

市政報告会を開催しています。

多くの方々からの貴重なご意見をいただいています。

市政報告

福祉

3年ごとに見直されている福井市老人保健福祉計画・福井市介護保険事業計画に関する質問や「認知症ケアの推進」「入居施設の防火体制強化」「地域包括支援センターの圏域見直し」「福祉人材の確保とサービスの質の向上」「いきいき長寿よろず茶屋の運営支援強化」等について提言をしました。

農業

施設園芸経営の可能性
青森県農業技術センター
再生可能エネルギーへの可能性
トヨタローリテック

市政報告

少子化

議員一年目は教育民生委員会に所属し、市内認定こども園の調査や岡山市総社市の「子育て王国総社」の取り組みを調査しました。
また、来年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」に対する準備が現在も急ピッチで進んでいますが、本市における支援体制とスケジュールについて質問、提言してきました。

10月末から各地区・各町内において私の市政報告会を開催させていただいています。各会場でいただいたご意見は、今後の活動の参考、調査対象として活用させていただきます。また、要望事項について、すでにカーブミラー設置の要望書提出となった町内もありますが、今後も市担当部署と協議が必要な箇所や事項もあります。しっかり対応していきます。

また、コミュニティバス・スクールバス運行についての質問・ご意見をいただいた件については各地区ごとの検討会（地域交通検討協議会など）をつくって地域住民主体で必要な形をつくりあげていくことを提案・お手伝いしていきたいと思っています。

これからも報告会を開催していきますので、ぜひおいでください。時間の許すかぎり皆さんのところでお話しさせていただきます。

医療福祉

医療福祉の充実を図り、福井型ケアサービスを提案していきます。

農業

それぞれの地域特性を生かした農業の再生を目指します。

防災

各地区の防災活動がより厚みのあるものとなるよう取り組みます。

少子化

子育て環境の充実と地域住民によるふるさとの素晴らしさの発信を応援します。

地域交通

本当に必要な形で実現でき、地域の移動手段として愛着の持てる交通体系を提案します。

議会改革

「開かれた議会」「議会の監視機能と政策立案機能の向上」を目指します。

市政報告

防災

平成23年5月に初めて東日本大震災の被災地を訪れ、被害の甚大さと防災への取り組みの重要性を再認識しました。議会では、廃炉に向けた取り組みや互換性確保...
報告を行ったほか、「防災組織などの防災リ...
する提言のほか災害ボランティアに参加

市政報告

議会改革

議会改革特別委員会の委員として「議会基本条例」の制定に向けた協議に積極的に参加し、平成24年12月定例会で制定しました。施行後、昨年4月と今年4月には、議会報告会の開催、今年6月議会からはインターネット中継が実施されています。
広報広聴部会委員や議会だより編集副委員長として「開かれた議会～市民に身近で信頼される議会～」をめざし実践してきました。

これからも強いリーダーシップをもって、子どもたちがふるさとを好きになってくれる、お年寄りがいきいきと活躍できるまちをつくっていきます。

ホームページもご覧ください

泉和弥

検索

<http://izumikazuya.jp>



政策・提案とブログをチェックしてください

いいね! を押してね

住民力

ひとりひとりが、地域を育てる。



福井市議会議員

こんにちは！泉かずやです。

発行： 福井市次郎丸町36-32 泉かずや事務所 090-8268-0454

E-mail : izumikazuya.civ@gmail.com

11月26日～12月19日の会期で福井市議会12月定例会が開催されました。

福井市老人保健福祉計画・福井市介護保険事業計画が新しくなります

以前から、1地域包括支援センターが担当する地域が広く中学校校区や自治会活動などと圏域が異なることなどから、より細かな日常生活圏域にすべきと提案してきました。新しいオアシスプランでは地域包括支援センターの担当エリアが見直しされます。



12月予算特別委員会にて、質問しました。

- ◆泉 2015では、地域包括支援センター（ほやねっと）の担当エリア見直しがなされ増設されるが、日常生活圏域見直しと地域包括支援センター増設の時期はいつごろをめどとするのか。
◎福祉保健部長 移行にあたっては十分な準備期間が必要な為、平成29年度までに移行したい。
- ◆泉 新しい包括支援センターの職員については今までの利用者に対し切れ目なくサービス、相談援助業務ができるようある程度の養成（教育）期間が必要と考えるが、どのように考えているのか。
◎福祉保健部長 引き継ぎは重要と考えている。利用者に混乱しないよう期間中に研修会の開催や既存の地域包括支援センターでの実践研修を行う。

その他の注目する点

◎認知症施策の総合的推進

- ・認知症検診の受診率向上
- ・認知症徘徊SOSネットワークの構築

◎地域ケア会議の推進・充実

- ・生活圏域ごとの多職種連携会議の開催を通じた顔の見える関係づくり

◎生活支援サービスの充実・強化

※いきいき長寿よろず茶屋に介護予防等の役割が加わります。

- ・地域の元気な高齢者が、気軽に集まり、趣味活動や軽スポーツを行う場所
- ・地域の高齢者の困りごとを相談、解決する場所
- ・健康管理・介護予防を行う場所
- ・地域に出て、見守りや生活支援を行うボランティアの拠点

多数の方から、プラネタリウムや西口再開発ビルについて

「反対」「疑問」との声をいただきます。

すでに、西口再開発ビルの建設が進むなか、自然史博物館別館（プラネタリウム）についても指定管理者の募集や、基本設計が出来上がり、より具体的な内容を議論しています。皆さんの疑問から本当の賑わいの創出につながるような施設づくりが必要です。



○12月予算特別委員会にて質問しました。

◆泉 自然史博物館分館展示物等設計製作業務の提案書では、「キャンプラネット」をコンセプトとした施設づくりが提案されていたが、展示スペースの基本設計図や内観イメージ図からは普通の平面的な展示スペースにしか見えず、つまらない。テントやタープをモチーフとしたデザインはどこに表現されたのか。提案書にあった「活動」と「集う場」としてのイメージが感じられないが、実際にはどうなるのか。

◎教育部長 基本設計の段階では展示アイテムを中心に据えて設計をおこなってきた、今後の実施設計でデザイン、内装、空間演出でキャンプラネットを演出していきたい。

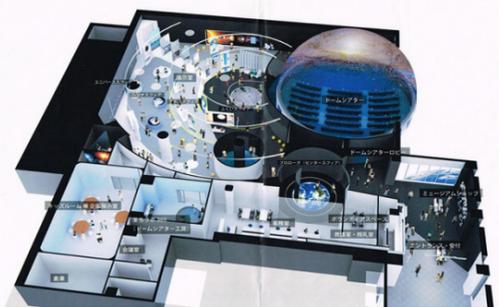
◆泉 提案書では施設のイメージのなかに、多彩なコンテンツで好奇心・冒険心を刺激するとして恐竜の世界にタイムトリップとあり、恐竜ファンに向けた体験ストーリーを提案しているが、体験できるのか。

◎教育部長 今回の基本設計では恐竜そのものをテーマにした展示装置、アイテムはない。特別展などで表現したい。

◆泉 指定管理者導入について、他県の類似施設の委託料に比べ格安の9800万だが、その金額で委託して、目標年間10万人の利用者が本当に楽しめる施設づくり、事業展開ができるのか。 ※1

◎教育部長 指定管理料については厳しい目で見ているところがある。来館者集10万人の利用者収入を入れれば類似施設と差はないものと考えます。

施設名	職員数	常勤職員	内学芸員	非常勤	運営形態 (H24年委託料 円)
郡山市 ふれあい科学館	16	15	3	1	指定管理 2億7856万7千円
山梨県立科学館	25	10	3	15	指定管理 3億4789万7千円
ディスカバリーパーク 焼津天文館	22	20	7	2	指定管理 1億4053万1千円
新潟県立自然科学館	42	33	4	9	指定管理 2億8905万4千円
名古屋市科学館	32	32	14	22	市直営



※1 指定管理者募集について、どの事業者も本申請がなく委託料の増額を含めた条件の見直しがなされ再募集しました。実際の運営には十分な企画力、展示力が必要と考えます。

※ 以前、西口再開発ビル建設の予算が計上された際、私達の会派や市民クラブがプラネタリウム部分は再検討、議論が必要であることから修正案を提出し、他会派の反対で不採決となり、予算原案のままの採決では賛成に回った経緯があります。今回の指定管理料を見ても決して安い金額とは言えません。しかし、楽しい施設、何度も行きたい施設を作らないと、結局は人の来ない本当に無駄遣い施設になってしまいます。プラネタリウムを含む形で予算を通した以上、賑わいづくりの中心となるような施設づくり、運営が実現できるように今後もチェックしていきます。

9月30日・10月1日2日 決算委員会が開催され、平成25年度の決算を認定しました。

平成25年度は、収入に対する市債の償還額とこれに準ずる支出の合計額の割合や負債額の割合からみると、全国平均比率より高い水準にあり、厳しい財政状況といえます。現在、財政健全化に向け取り組んでおり、今後も効率的効果的な財政運営をチェックしていきます。

市債*の残高	
一般会計	1,377億4,065万円
特別会計	192億5,105万円
企業会計 下水道事業 ガス事業 水道事業	707億4,966万円 61億 299万円 164億6,864万円
合計	2,503億1,299万円

◆泉 老人クラブの友愛訪問活動に支出しているそうだが、どのような活動か。

◎長寿福祉課長 各単位老人クラブに家庭相談員という方が1人ずついて、友愛訪問活動として老人クラブの会員で地域でひとり暮らしとか寝たきりの状態の方について、悩み事や心配事の相談相手となって地域の連帯を深める活動をしている。一人1年間当たり6,700円の補助をしている。平成25年度は202の方に135万3,400円の金額を支出している。

◆泉 福祉関係の民生委員とか、福祉委員など同じような活動をしている方々との連携がとられていない独自の活動だと聞いているが。

◎長寿福祉課長 家庭相談員の活動に関しては、確かに地域によってばらつきがある。今後、各地区の民生委員、それから福祉委員、自治会長、そして老人クラブの家庭相談員と今後地域の見守りのネットワークのようなものを構築していく中で、一緒に連携して進めていきたい。

◆泉 福祉委員はほとんどボランティアでやっている。それなりの支出をするのであればそれなりの仕事と連携をするということを検討してもらいたい。

◆泉 ジェネリック医薬品の使用効果は、数字的にあらわれるのか。

◎保険年金課長 ジェネリック医薬品の使用についての金額では、国保連合会のほうの数字で、平成25年度は4億6,000万円ほどジェネリック医薬品が使われている。

◆泉 ジェネリック医薬品の使用に対する目標はあるのか。ジェネリックに切り替えるには保険を利用する側だけではなくて医療機関にもお願いする必要があると思う。行政としても両方へアプローチするには、お互いに納得するような数値目標を持っていないと、現実的には増えていかないのではないかと私は思う。

◎保険年金課長 国の目標が数量ベースでは示されている。以前は数量ベースで3割となっていて数量ベースでいくと福井市の場合、国の基準の3割の部分についてはクリアしていた。今後は6割という話も出てきており、あらたに検討していく。

